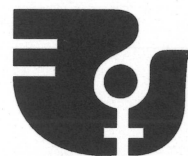


とも だち



平等・開発・平和

ともだち共立

第23号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

第4回定例会 七夕飾り作成

7月20日(木) 講師: 推進員 吉田 明美さん

今年は、推進員の吉田さんに教えていただきながら、推進員の子どもたちと一緒に、紙コップを使った織姫と彦星の飾りを作りました。



大小の紙コップに、クレヨンやマジックで思い思いの表情や模様を描き、胴体にはカラフルな短冊を細く切って貼付け、最後に織姫と彦星を紐で結ぶと、愛らしい七夕飾りが完成しました。

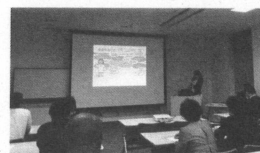
その後、家族の健康や世界平和を願って、みんなで短冊を書きました。重心に返り、子どもたちと一緒にとても楽しいひとときを過ごすことができました。(大田真由美)

第5回定例会 9月21日(木) 教育部会担当講座

「子どもたちを取り巻く環境の変化から見えるもの、その課題と対応について」

講師: 高岡市立南星中学校 養護教諭 吉江真由紀 氏

演題: 学校現場から見えるもの - 保健室から見た子供たちの現状と課題 -



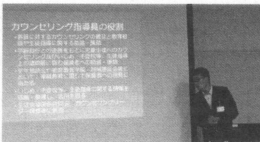
「養護教諭」という立場から見ると子ども達の日常の姿と、様々な課題及び解決に向けた取り組みについてお話しいただきました。

まず驚いたのが、受け持つ職務の多さ。最もイメージし易い「けがや病気の対応」に留まらず、検診・検査の手配、対応から、各種データ処理、保健室だよりや保険委員会活動等の事務作業、校外活動への引率、不測の事態を未然に防ぐための予防措置など、目の回るような忙しさの日々の中にあっても、それを悟れずに「先生暇そうだから遊びに来たよー」

と言われるよう、生徒の拠り所となることを最優先にされているとのこと。

諸外国と比較し、日本の児童・生徒は、「自己肯定感」が低い傾向にあり、かつ、年齢が上がるに従って低下しているデータが示されている現状を憂い、子どもたちが自己を尊重して「健康な生活を送るために必要な力」を付けることができるように行っている様々な取り組みと、その結果、自分自身の大切さ、周りの人の大切さに気付くことが出来た生徒が多数に上ったお話しをご紹介いただきました。

生徒が身心共に健康な学校生活を送れるよう、「養護教諭」だからこそ出来る支援を、陰になり日向になりながら実施されていることが印象的でした。(松本 光司)



講師: 高岡市立南星中学校 教諭 明野 尚人 氏

演題: カウソニグ指導員の役割

今回の定例会の主題である、子どもたちを取り巻く環境の変化を、自分の子どもと、自分自身が子どもの時とを比べながら拝聴しました。

私が小学生の頃は、携帯電話やゲームといった娯楽はまだ無く、主に外での体験的な遊びがほとんどでした。しかし、現代の子どもたちはそのような体験的な遊びの経験がほとんど無いため、生活体験や失敗体験を

せずに成長しているということを知りました。

この事だけを聞いていると、現代の子どもたちの体験は貧しく思えます。ところが現代の子どもたちは、失敗や成功は自分自身が傷つかずに第三者の出来事で学ぶことが出来るなど、我々の幼少期には無かった世界観の中で生活しており、比べ物にならないともいえる。

子どもたちの生活環境を理解することが、いじめや不登校などの諸問題を解決する糸口になると感じました。

(指崎 一匡)

編集後記

二年の任期を頂き拝命した推進員も、残すところ半年となりました。

初年度はなかなか参加もできず大変ご迷惑をお掛け致しましたが、残された期間で男女共同参画とはなんぞや?を自分なりに理解し、地域の方の為に、活かして頂けるミニ地区懇談会を企画したいと思います。(平島 充)

広報部員

副会長 松本 光司

部長 指崎 一匡



七軒 祐子

平島 充

大田真由美

山田 好子

推進員は原動力



高岡市男女平等推進センター所長 柴田 善子

「男女共同参画推進員ちゃ、何しとてやがいね?」とよく聞かれます。推進員の皆さんには釈迦に説法ですが、富山県男女共同参画計画の普及・啓発等を地域で実践する核として様々な活動をされています。

昭和55年富山県婦人地域活動推進員として発足して以来、幾度かの名称変更を経ながら、平成10年には男性も加わり、平成13年には県条例で推進員制度を規定

し役割等も明確にされました。

高岡連絡会では、各小学校区から男女1名ずつ、隔年度交代で高岡市の男女平等・共同参画の推進にも取り組んでいただいています。第19期(平成28・29年度)となる今年度まで、単純計算で約1,000名近くの皆さんが参画推進に関わっておられることになり、高岡での取り組みについてもその数は広がっているものと考えます。

特に今年度は、第2次高岡市男女平等推進プラン・DV対策基本計画のスタート、そして各地区の皆さんに直接、男女平等・共同参画について伝えるミニ地区懇談会開催の年度にあたることから、このタイミングを双方のチャンスとして活かし、より効果的な取り組みとなるよう努めています。

毎回、懇談会では市の取り組みについてお話をしていますが、DVについては重点取り組み「若い世代への啓発」として実施している市内全中学1年生を対象とした出前講座「デートDV予防啓発講座」の一部も紹介しています。「いい関係をつくろう～アイメッセージで伝えよう～」を副題とし、自分も相手も大切にコミュニケーションのあり方を解りやすく伝えており、受講後の生徒の皆さんからは、暴力は身体的なことだけでなくことや対等な関係を築くことの大切さなどを知った、これからの生活に活かしていきたいなどの声をいただいています。実は、この講座、プログラムの開発から実施に至るまで、推進員経験のある皆さんの力をたくさん借りて成り立っています。

平成29年度からの事業についても、推進員の皆さんの力と市民の皆さんの協力などが必要となります。市も含め、それぞれが身近にある、出来ることから一緒に取り組んでいくことが男女平等・共同参画社会の実現につながります。センターでは、これからも地域活動の原動力となる推進員の皆さんと共に歩んでいきます『高岡発男女共同参画社会』へ。

この広報紙は高岡市のホームページからもご覧いただけます。

ほっとホット高岡 暮らし 男女平等・共同参画 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

http://www.city.takaoka.toyama.jp/gender/kurashi/kyodosankaku/renrakukai/index.html



ミニ地区懇談会開催中！

定塚・平米校区 内容「高岡4D-ポケット（たかおか よじげん ポケット）」連携開催



「懇談会を通して少しでも地域を元気づけたい！」そして、「地域の方と一緒に、具体的な行動に繋がる懇談会を実施したい！」そんな思いから、ミニ地区懇談会を「高岡4D-ポケット（通称：タカポケ）」の皆さんと共同開催しました。

「こんな事で良かったな」「あんな夢」や「こんな夢」を持つ人々を、「自分事」と捉えてアイデアとマンパワー+無償の愛情で全力支援し、想いを形に変える後押しをするタカポケの皆さんは、会社員から自営業、経営者まで、各々仕事をしながら「幅広い年代の男女」が力を合わせて活動する任意団体。

この活動自体が、男女平等推進プランの基本目標に掲げる「男女が一緒になって活躍できる社会」の具現化した一つではないかと考え、共催をお願いしました。

懇談会では、「高岡を良くするための夢を叶えたい」3人の登壇者が夢の内容をプレゼンテーション。参加者は自分が興味のある内容について、夢の実現に向けた様々なアイデアや、自分が出来る支援策をグループでディスカッションし、プレゼンターが踏み出す「最初の1歩」を後押ししました。思いもよらないアイデアや支援を得たプレゼンターの晴れやかな笑顔が伝わり、参加者全員「自分事」の様に笑顔が溢れる充実したひと時となりました。（松本 光司）

戸出東部・西部校区 演題 暴力で解決しない社会を目指して
～DVの実態からみえること～

講師 高岡DV被害者自立支援基金 パサパ代表 向 富士子 氏

高岡DV被害者自立支援基金 パサパ代表 向 富士子 氏をお迎えしてDVの現状について講演いただきました。

DVによる暴力の種類（身体的・精神的・経済的・性的・社会的暴力）や、近年、SNSでの誹謗中傷など、被害が多様化していることや、児童虐待（身体的・性的・心理的虐待・ネグレクト）での、子どもへの影響や、被害者から逃げる事でしか、今のところ解決出来ない現状など、支援を通じて、暴力で解決しない社会を目指して、啓発活動が続けられるお話を聞きました。21名の参加者の皆さんは、真剣にお話を聞いていました。（吉田 明美）



平成29年度ミニ地区懇談会開催スケジュール

各地区で懇談会を開催中です。多数の方々の参加をお待ちしています。（11月1日現在）

福 岡	中 田	戸 出 西 部	戸 出 東 部	石 堤	千 鳥 丘	東 五 野	牧 吉	古 府	太 田	伏 木	野 村	二 塚	下 関	万 葉	能 町	成 美	木 津	南 条	博 労	西 条	川 原	横 田	平 米	定 塚	校 下 名
未定	未定	8月21日（月）		6月29日（木）		10月15日（日）	未定		1月下旬		未定	未定	未定		11月24日（金）		11月28日（火）	未定	6月24日（土）	11月18日（土）	未定	11月18日（土）	11月18日（土）	6月7日（水）	開催予定日

民間支援基金パサパは皆様の支えで成り立っています！



DV被害者が、自立の一步を踏み出すための一時支援金を無利子で貸出します

DV（ドメスティック・バイオレンス）問題は社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっています。しかし未だ被害の相談件数は増加しており、子どもへの影響も深刻な問題になっています。パサパは、誰もが安心して暮らせる、何事も暴力で解決しない社会を願って活動します。

賛同するみなさんの会費・寄付で運営しています。あなたのサポートをお願いいたします。

（会費・寄付振込先）

ゆうちょ銀行〇七九店（079）当座預金口座番号 0057876

口座名 サポート基金パサパ

問合せ先：080-6358-0838

パサパって？
フランス語で、
「一歩一歩」という意味です。

1回定例会 4月20日（木）総会・部会別打合せ



平成29年度総会終了後、部会主催定例会の打合せを各部会に分かれて相談され計画がだされました。

今年は2年に一度開催するミニ地区懇談会の年です。大勢の方々に「男女平等共同参画社会を実現するためにはどうすればよいのか」を考えて頂けるような企画を、いつ頃、どこで、何をするのか、講師はどうするのかなど校区ごとに相談されていました。始めて行う行事に大きな不安はあるものの、なんとかやってみようという空気が流れていたように思います。（七軒 祐子）

第2回定例会 5月25日（木）職場部会担当講座

演題「結婚・出産後も、経験・スキルを活かし働き続けられるための短時間勤務や退職者の再雇用の導入について」

株式会社アキデザイン社長 篠井 秀樹 氏



冒頭より、業界のイメージ通り典型的なブラック企業だった。と、過去を振り返る講師が、社長就任後、ワークライフバランスの推進、育児介護休業等の規定作成、再雇用制度の見直し等、数多くの取り組みを行ってこられました。「助成金を頂けるから……」と、照れ隠しの様に言っておられました。全てが従業員様の為であり、「独自のルールではない、時代に即した職場環境づくり」に情熱を燃やしておられました。

ご講演を拝聴いたしまして、熱い講師からは、富山県を代表するクリエイティブ企業の社長！という 創造的かつ切れのあるイメージというよりは、大家族を優しく見守るお父さんの温もりを強く感じました。

そんな優しさで築き上げられた結晶は、今年、創立35年を迎える。との事でした。（平島 充）

第3回定例会 6月22日（木）地域・家庭部会担当講座

演題：健康たかおか輝きプランの推進について

講師：高岡市役所 山本 加代子氏



少子高齢化が進む中、高齢者を支える働く世代、若い世代の健康が重要であり、それには死因代位1位のガン、2位の自殺、3位の心疾患の予防が大切ということ、パネル等を使って解りやすく説明して頂きました。

「ガンは自覚してからでは遅い、早く発見するにはガン検診を受けること。」「ストレスと上手に付き合い、うつと感じた時、または周りが気づいたときは相談すること。うつは心の肺炎で放っておいてもならない。」「心臓を守るために健康診断を受けて血管の状態を知ること。」など、これからきをつけていく様々なことを知ることができました。

病気に対しては、運・不運もあるとは思いますが、自分で防げることは防ぎたい。そして今日からできる健康づくりをはじめようという気持ちになりました。（山田 好子）

悩んでいることは
ありませんか

ひとりで悩まないでご相談ください

DV（配偶者や交際相手からの暴力）
家庭や職場のトラブルや悩み事など

高岡市男女平等推進センター相談室

TEL 0766-20-1811

主な
データ

相談件数：3,150件（延件数）

主な主訴：①DV 1,416件（44.9%）

②生き方 426件（13.5%）

③精神保健 394件（12.5%）

年齢別：①40代 1,499件（47.5%）②30代 735件（23.3%）

相談 9:30～16:30 月・火・水・金
時間 14:00～20:00 木

【電話相談】【面接相談】（面接相談は予約が必要です。）

※休館日は、毎月第4月曜日・12月29日から翌年の1月3日まで。

（相談業務は毎週土曜日・日曜日とお休みです。）

高岡市末広町1-7（ウィング・ウィング高岡6階）●高岡駅前

相談室より

相談室では一人ひとりの気持ちや考え方を尊重し、相談者自身が自分の力を発揮して問題解決に取り組んでいるようなサポートを行っています。

電話相談や面接の中で相談員とともに問題を整理しながら、今後の見直しをつけていくための知識や情報も提供しています。